

会報 しんせき

第 74 号

顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

平成31年3月19日

発行責任者

新関コミュニティ協議会

会長 小島清彦

梅の花が咲いています

ふぎのつぼはもう花になつているものがあります

カラスが枝を加えて裏の杉林に消えて行きます

巣作りが始まっています

我が家の二つの巣箱に一月ごろからヤマガラとシジウカラが出入りしています

昨年は一匹のヤマガラとシジウカラによる巣箱の争奪戦が行われ、負けたシジウカラはとなりの巣箱にやむなく移動？

今年はどうなるのか興味津々です

入学試験・卒園式・卒業式：

桜のつぼみもふくらんできています

そして、まもなく入園式 入学式 転勤 異動…

県内の開花予想は4月5日頃からでしょうか

まもなく4月。本格的な春がすぐそこまでやって来ています。

寒さ厳しい日も何日かありましたが、積雪は想像以上に少ない年となりました。カマキリの卵は2メートルも高い位置にあるのを見かけたので、ひよっとした今年も大雪かと心配しましたが。：結局は当初の予報通り暖冬ということに落ち着いたようです。

『平成』という時代もあとわずかとなりました。どんな元号になるのでしょうか。

駆け足で過ぎ去ってしまった感の平成30年度。新関コミ協の事業もみなさまのおかげでは無事終了いたしました。

これまでのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

新関小6年生 地域住民に提言

1月29日

総合的な学習の成果を発表



新関小6年生は、これまで取り組んできた総合的な学習の成果をまとめ上げ地域住民に発表しました。『新関地域の素晴らしさ・世間へのPRの在り方・地域の活性化のために何が必要か』など班ごとにパソコンを駆使してのプレゼンテーションは見事でした。

次に3つのグループに分かれて、地域の方とディスカッションを行いました。大人を相手に堂々と自分の意見を述べる6年生のレベルの高さにただただ驚くばかり。6年生が考えてくれた地域の活性化対策は大変示唆に富む内容で、私たちもできるものから一つでも二つでも取り組む必要性を強く感じさせられた時間でした。

この発表会の様子を秋葉区学校支援課の先生が熱心に見ていただきました。また、新潟日報さんからも取材していただきました。



卒業式を目前に控えた6年生が、ディスカッション後さっそく「こみのないきれいな新聞」を目指したポスターを作成し、新関コミセンに届けてくれました。各自治会の公会堂や掲示板に掲示していただき、子供たちの思いが伝わるようにしたいと思います。



秋葉区

自分たちの住む地域をどう盛り上げていくかを考え、地元住民に提案する発表会が29日、新関小で開かれた。写真1。6年生14人が3班に分かれて、地域の特産物をPRしたり住民の絆を深めたりするのにも効果的な方法を披露した。

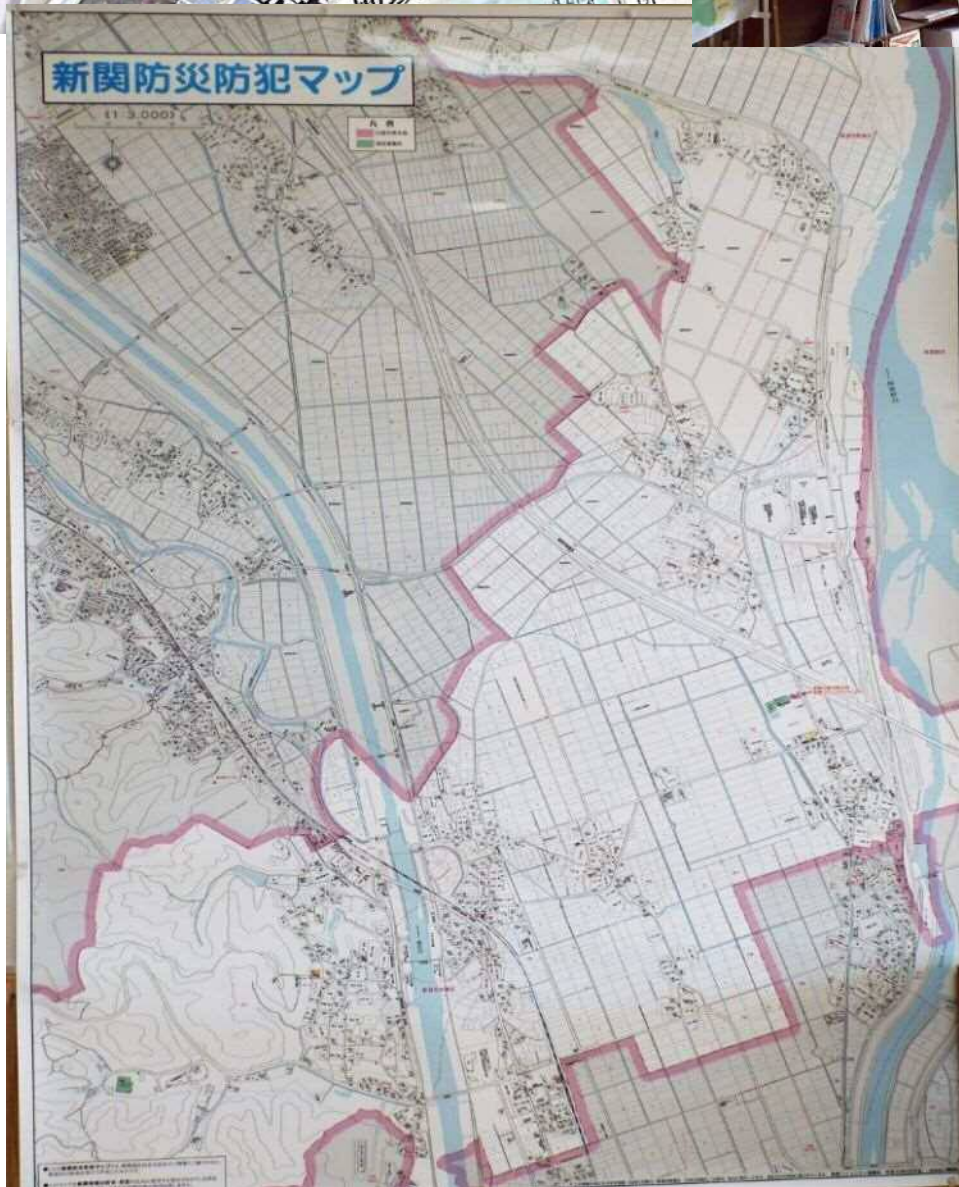
活性化 これはどうだ

発表会では、地域の歴史ある寺社を歩いて巡るイベントを行い、参加者に地元産のサトイモを使ったポタージュや柿のマフィンなど四つの新メニューを提供する案が示された。また、住民全員が参加する祭りの開催も提案された。グループディスカッションでは、児童とコミ協役員らが「新聞には特産品としてお茶もある。これもPRしたい」と話した。

本間結衣さん(10)は「これからの地域の在り方に関心を持つことができた。案が一つでも実現して、盛り上げられればいい」と話していた。

新聞コミュニティ自主防災隊

地域や子供たちの安心・安全に向けて



昨年にとり起こった新潟市の小学生女児の痛ましい事件は大きな衝撃を与えることとなりました。
一層の防犯対策が叫ばれる折、新聞コミ協では今回さらに乗用車用のステッカーや



ベストを購入しました。より多くの見守り隊員からご協力を得たいと思っています。
また、新聞コミセンの防災コーナーには新聞全図の防災マップも作成し掲示しました。

(これらはすべて新潟市の補助金からです)。

これにより地域全体が見渡せることが出来、防災や防犯、交通安全などに役立ちます。
また、不審者対策用に「さすまた(3個)」も館内に揃えました。





涙、涙の六送会

「しあわせしんせき」

新関小学校は「明るく伸びる元気な子」を教育目標に掲げ、「しあわせしんせき」を合言葉にして取り組んでいます。「しあわせを自分でつかんでいく力＝しあわせ力」の実現です。

今年もまた六送会が華やかににぎやかに、そして、感謝と別れの寂しさをにじませて行われました。

六年生が人目もはばからず純粋に涙した姿はまさに自分でつかんだ幸せの涙であり、併せて、自分でつ

かんだ幸せの裏には、家族や先生方、友達、在校生、地域の方など多くの人に支えてもらったという感謝の涙でもあったと思います。

退場する6年生が、地域の方や保護者に胴上げされるというサプライズもありました。

地域みなさん、来年はご自分のお子さんお孫さんに関係なく六送会に参加されたいかがでしょうか。「しあわせしんせき」が実感できます。

4月当初の日程

- 1日（月）しんせき児童クラブ入会式（学童保育）
- 5日（金）新関小学校入学式
- 17日（水）安心安全見守り隊出発式

- 13日（土）新関地区自治会総会
- 19日（金）新関小PTA歓迎迎会
- 21日（日）クリーン作戦
- 27日（土）コミ協代議員会

放課後児童クラブ開設の「お知らせ」

四月一日(月)より

名前を「しんせき児童クラブ」としてスタートします。

地域の皆様のご理解とご支援をよろこぶようお願い申し上げます。

これまでの経緯(概要)

(1月末)

- ・行政より報告と打診
『「みのりクラブ」が3月末をもって閉所。
その後の受け皿として新関コミュニティ協議会にお願いできないか』
- ・新関コミ協運営会議で事態を報告、検討

(2月～)

- ・行政や関係機関と再三にわたり協議調整
- ・ニーズ調査実施
- ・希望者の集約
この時点で10名ほどの希望者あり
- ・この結果を踏まえ開設を決断
- ・支援員の確保、関係書類の準備
- ・コミセン管内の受け入れ準備
- ・保護者説明会の実施

(3月から)

- ・行政との連絡調整
- ・コミ協運営会議
- ・コミ協臨時代議員会
- ・関係書類の回収と整理

現時点での希望者数

	通年	長期休業
人数	8人	6人

児童クラブ入会はいつでも受け付けています。

お問い合わせ

新関コミュニティ協議会

会長：小島清彦 事務局：渡辺・松田・山崎

新関コミュニティセンター 47-4640

——— 気軽にお尋ねください。 ———

裏面もお読みください。



しんせき児童クラブ 運営の概要

新関コミュニティ協議会が

新関コミュニティセンターを使って行います。

1. 放課後児童クラブの名称 「しんせき児童クラブ」とする。
2. 運営の考え方
 - ① 家庭や地域、社会の今日的な要請を受け止め、地域の活性化対策の一助とする。
 - ② 公設でなく民営の立場で運営するが、営利を目的とするものでない。
 - ③ 「地域の子どもは地域が育てる」をモットーに、子どもの健全な成長を願い、「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」の児童クラブを目指す。
3. 開設の時間帯
 - 通常の場合 月曜日から金曜日 児童下校 ～ 午後6：30
 - 長期休業中 月曜日から金曜日 午前7：30 ～ 午後6：30
(小学校の代休日も含む)

◆解説しない日

 - ・土曜日、日曜日、祝祭日
 - ・お盆（8月13日～15日）
 - ・年末年始（12月29日～1月3日）
 - ・突発的な災害等
4. 使用場所
 - 新関コミセンの和室を定位置とする。
但し、利用団体がない空き部屋も使用可(大ホール・会議室・ラウンジ)
5. 支援員（先生）と補助員の任務
 - 支援員は2名で交代制（4月、5月は3名体制）
 - 補助員はコミセンの当直者とし、児童の安全確保を主に適宜巡視を行う。また、緊急時の対応や保護者からの電話等の対応にあたる。
6. 運営の経費
 - 市からの補助金 ○保護者からの利用料金およびおやつ代

◆コミ協と児童クラブの会計は互いに独立して行う。

以上はスタート時点での基本的な考え方です。ご理解ください。